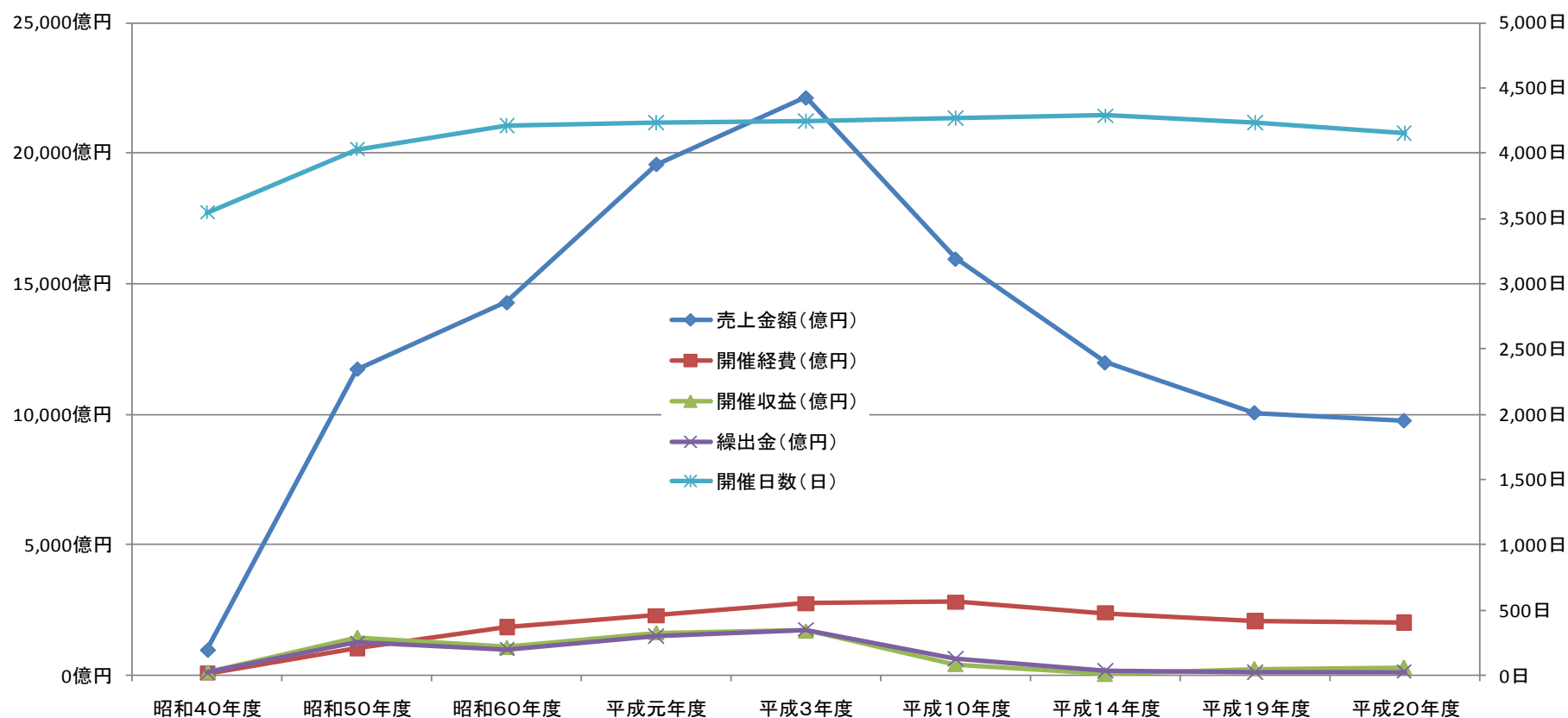


■競走事業

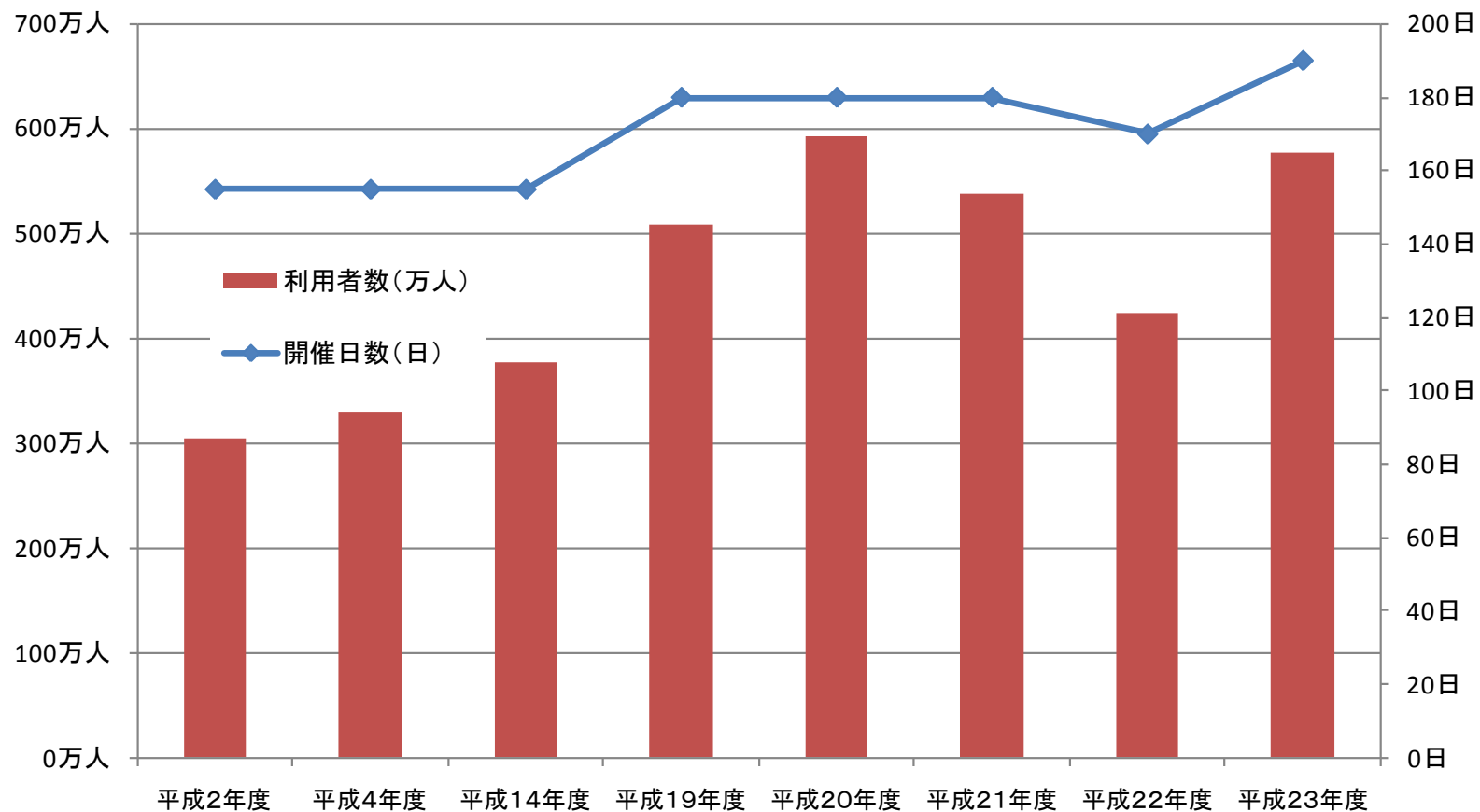
全国の競艇事業の売上と他会計への繰出額の推移



	昭和40年度	昭和50年度	昭和60年度	平成元年度	平成3年度	平成10年度	平成14年度	平成19年度	平成20年度
売上金額(億円)	984	11,745	14,292	19,589	22,137	15,961	11,991	10,075	9,772
開催経費(億円)	83	1,036	1,846	2,296	2,751	2,815	2,396	2,080	2,035
開催収益(億円)	125	1,470	1,081	1,652	1,712	422	40	264	320
繰出金(億円)	101	1,265	1,001	1,517	1,765	650	190	124	146
開催日数(日)	3,548	4,032	4,212	4,236	4,248	4,272	4,290	4,238	4,154

■競走事業

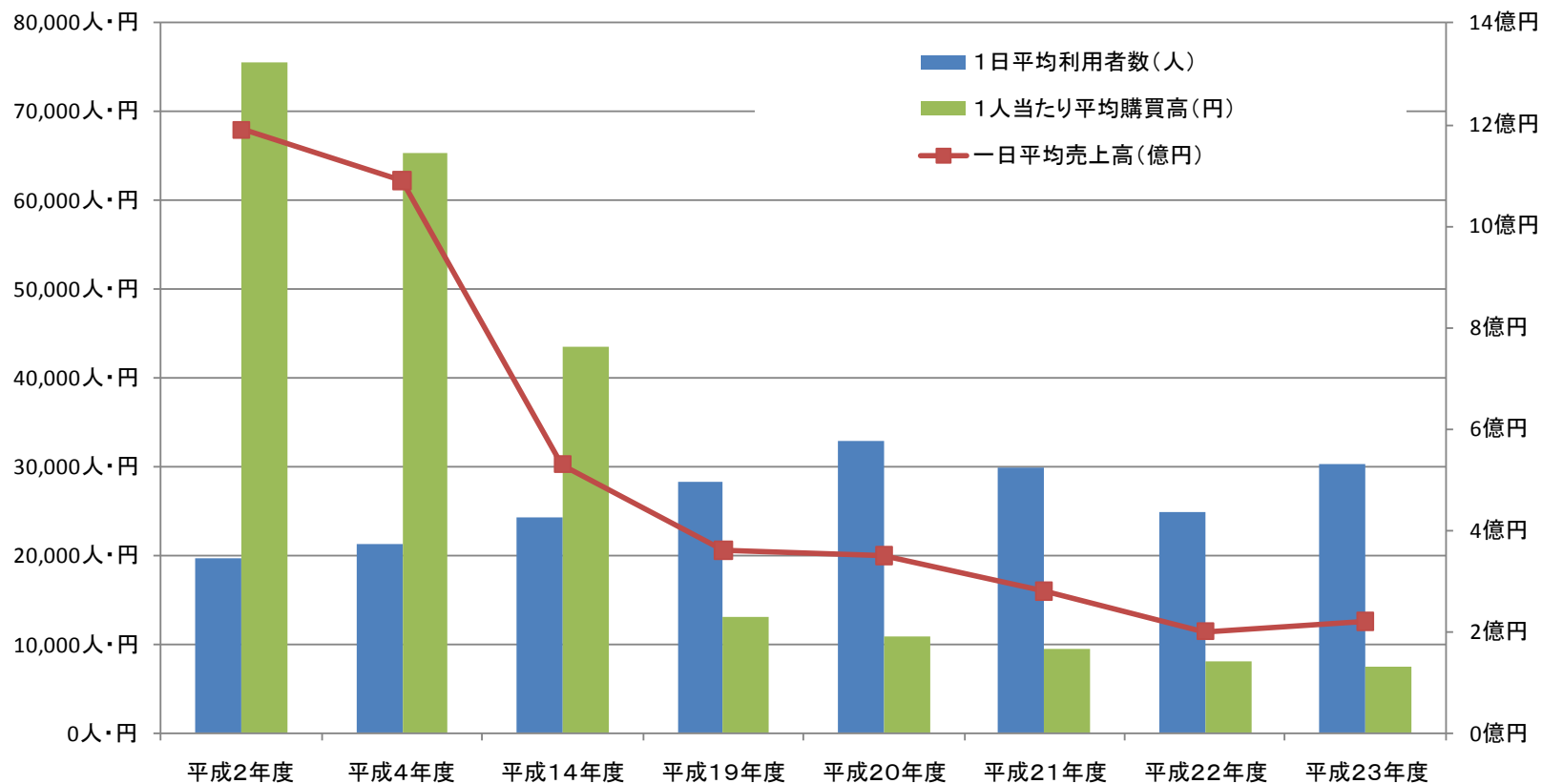
平和島競艇場の利用者数と開催日数



	平成2年度	平成4年度	平成14年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
開催日数(日)	155	155	155	180	180	180	170	190
利用者数(万人)	304	330	377	508	592	538	424	577

■競走事業

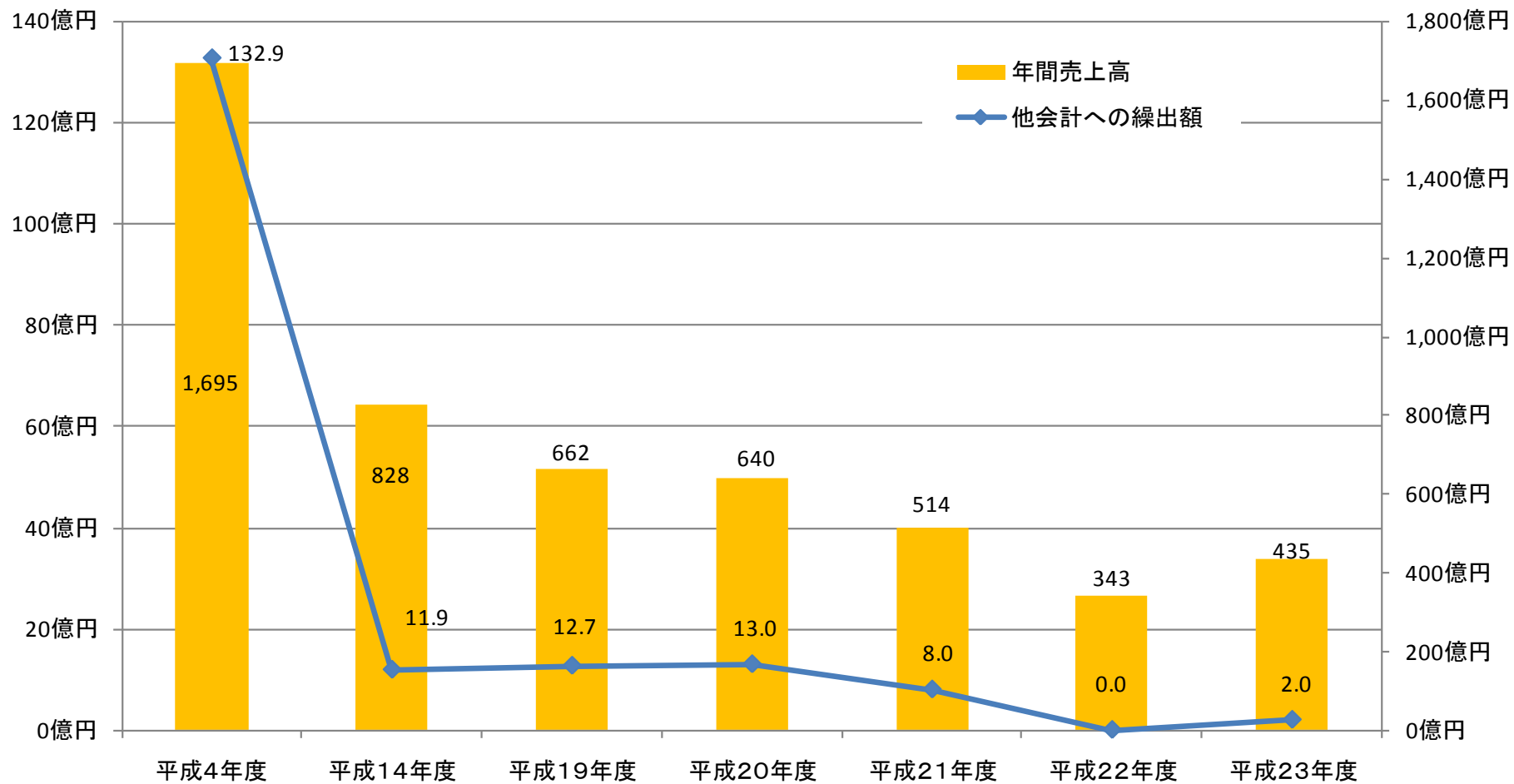
平和島競艇場の1日あたりの売上と利用者数等



	平成2年度	平成4年度	平成14年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
1日平均利用者数(人)	19,617	21,309	24,339	28,234	32,890	29,941	24,957	30,413
一日平均売上高(億円)	11.9	10.9	5.3	3.6	3.5	2.8	2.0	2.2
1人当たり平均購買高(円)	75,558	65,397	43,513	13,040	10,824	9,550	8,086	7,541

■ 競走事業

売上と他会計への繰出額の推移



■競走事業 平和島競艇場の売上向上・来場促進及び経営改善の取組

【売上向上・来場促進策】

- ・施行者、競走会、施設会社で組織する平和島競艇場活性化プロジェクトを設置し、来場促進に向けた事業を実施。
- ・平和島競走場の活性化を図るため、またボートレースそのものをより楽しんでもらうため、東京支部選手11人でのユニット(トーキョーベイパイレーツ)を結成し、宣伝・広告展開、イベントなどの活動を展開。
- ・場外発売時に入場者全員に専門紙の無料配布や G3 企業杯競走、年始開催レースにおいて全日入場無料、入場優待券を配布。
- ・テレシアター指定席において、女性客を無料(一般200円)とし、女性の来場促進に努める。
- ・吉本興業とタイアップし平和島deよしもとを実施し、場内特設ステージにて吉本の若手芸人によるイベント開催や音楽やダンスライブ等を開催し、を若い人たちの来場促進を図る。・府中市民をはじめとした初心者のバスツアーを実施。
- ・電話投票ポイントサービスとして電話投票ポイント現金還元の実施、CS放送の拡充を図り電話投票の売上向上を図る。・外向発売所(平和島劇場)として再活用し、他場ナイターレースをも発売できる発売所の拡充を図る。
- ・一般戦において、企画レースを実施。
- ・7月・8月の開催時間を1時間繰り下げ、さらに第5レースを企画レースとし、電話投票の売上向上策を実施する。
- ・フェイスブック、ツイッター、ブログを開設し、平和島レースの情報発信を積極的に行う。
- ・ボートレース平和島の専用場外発売場として神奈川県にボートピア横浜、青森県にミニボートピア黒石、新潟県にオラレ上越を設置。

【経営改善策】

H20…従事員の希望離職を実施し91人削減した。(人件費平成19年度決算比で概ね2億9500万円削減)

H22…従事員の希望離職を実施し、109人を削減した。(人件費平成21年度決算比で概ね2億1800万円削減)

H23…従事員の希望離職を実施し、114人削減した。(人件費平成22年度決算比で概ね6億円削減)

※4月現在の従事員数、平成19年度334人、平成20年度332人、平成21年度234人、平成22年度233人、平成23年度114人、平成24年度51人(平成24年度は名簿再登録者数)。

※H22平和島は平成23年3月11日発生 of 東日本大震災で12日を初日とする以降のレースを中止(10日)した。業界では3月14日以降同月末日まで全国場の開催レースを中止。